

～ 夢が実現することを楽しさを感じる ～
松本 弥生さん（西予市）

ぶどう園を経営する若手女性農家 1977 年生まれ
ホームページ <http://lino-kajuen.jimdo.com/>



☆経営概況☆

2012 年から夫とともにぶどう（約 1.5ha）を栽培し、自分たちで建てた直売所や近隣の直売施設でピオーネやベリーAなど約 20 種類を販売しています。

☆ここがポイント☆

■Uターン プラス Iターン

実家のぶどう園を継ぐ決心をして、働いていた**東京からUターン**することにしました。その時、**東京出身の夫**もついてきてくれて、Uターンの私とIターンの夫の二人でぶどう栽培をはじめました。

■お客さんとのふれあいを大切に！

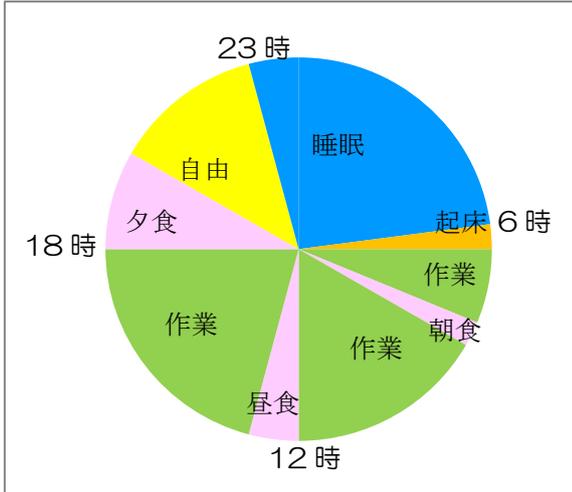
「お客さんと直接話をしてみたい」との思いから、**就農3年目に直販施設**“りの果樹園”（“りの”はハワイの言葉で“輝く”の意味です）をつくりました。実際にお客さんと話してみると、経営面でいろいろと教わる事が多く、直接お客さんと触れ合うことの大切さを感じました。

■継続できる農業を目指して！

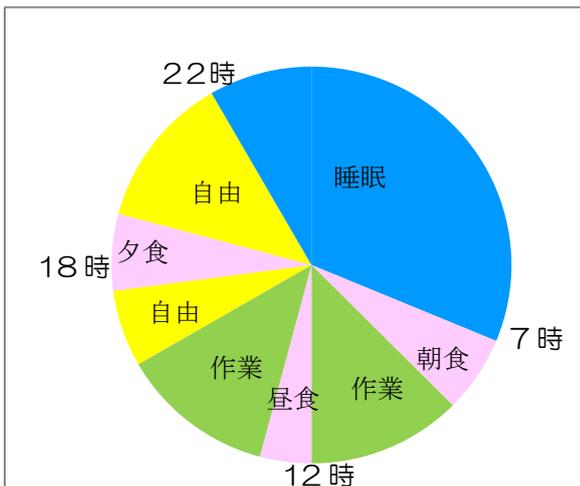
自分が農業するにあたって、二宮尊徳の「**道徳なき経済は罪悪であり、経済なき道徳は寝言である**」という言葉を意識しています。やはり、**理想だけで儲からないと継続できない**し、お客さんに受け入れられる農業もしたいと思っています。



【夏季のライフスタイル（一例）】



【冬季のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

両親の協力もあり、**日曜日は休むようにしています。**

ただ、夏季にはぶどうの収穫に加えて、直売所の営業もしているので、休むのが難しいのですが、将来的には休めるようにしたいです。

逆に冬の農閑期は作業も早めに終わらせて、夕食前に子供と一緒に過ごしており、サラリーマンには無い**ぜいたくな時間**だと思います。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
						原則お休みです
常に何らかの作業をしています						

☆これからの夢や目指すもの☆

もっとぶどうを身近な果物にしたいそしてぶどうを通して西予の自然の恵みを感じてもらえたらと、考えています。そのため今は**観光農園の開園**を計画しています。

☆メッセージ☆

農業は、人に言われたり命令されて働くのではなく、**自分で考えて自分で判断して働く**点が気持ちいいです。でも、その結果についての責任も持つことになるのですが・・・

それと、やったらやっただけの結果が得られるのも魅力です。経営を始めると無いものが多く不自由に感じますが、**自分の才能で改善できる点**も魅力だと思います。

